

【ケアプロ通信vol.80】

6月度ニュース: Social Impact for 2020 and Beyond に代表川添が登壇いたしました

平素より大変お世話になっております。

このところ暑い日が続いたと思えば、雨の日にはぐっと気温が下がる日もあり、体調維持管理には苦労しますね。

みなさまは体調など崩されておられませんでしょうか？

ケアプロでは3か月に一度、全事業部の社員が集まり経営会議を行っております。

今回は5月末に足立ステーションにて、会議を開催いたしました。

会議では、事業部からの報告、四半期表彰、入社プレゼン発表などを行っております。

今回の入社プレゼンでは、11名の新入社員が発表を行いました。

どの社員も個性豊かでそれぞれに強い志を持って、ケアプロに入社したことを強く感じられました。

これからも新しいメンバーと共にますます進化し続けるケアプロに、皆さまからの応援をよろしくお願い致します。

それでは、6月度のニュースをお送りいたします。



+.....I N D E X.....+

【1】代表 川添高志 Social Impact for 2020 and Beyond

【2】 予防医療事業部

1) マネージャー就任のお知らせ

2) 勉強会を実施しました！

【3】 在宅医療事業部

1) 合同デスクカンファレンスを開催しました！

+.....+

+…………代表 川添高志からのメッセージ……………+

<Social Impact for 2020 and Beyond>

2020オリパラを機に、Mobility Healthcareをレガシーにすべく、ケアプロでは新規事業準備をしています。

5月28日にSocial Impact for 2020 and Beyond スペシャルシンポジウムが開催され、そこで登壇させていただきました。



最近のニュースで、高齢者の運転事故を見ることが多く、移動に困難を持つ高齢者や患者、障がい者、要介護者が増え、交通弱者が社会参加するためのMobility Healthcareのサービスが必要です。

現在、ケアプロでは、日本中の医療、介護の従事者や事業者の力を結集したプラットフォームを作り、移動に困難を抱える方の支援をするマッチングサービスを提供できるように準備をしています。



シンポジウム後に、アナウンサーの塩田さんからも「前回から進んでいますね」と仰って頂けました。

健診弱者や看取難民に続き、交通弱者を救うべく、革新的なヘルスケアサービスをプロデュースして、健康的な社会作りに貢献していきます。

+……………予防医療事業部長 鈴木 沙由梨からのメッセージ……………+

1) マネージャー就任のお知らせ

春に産休育休から復職した山崎が、6月より総務課のマネージャーとなりました。組織拡大に向けて、幅広い業務を他の部署から引継ぎつつ、事業拡大に向けての打ち手もしていくということで、パワフルな活躍を行っていきます！

マネージャー山崎より「現場や営業が円滑にまわるように、尽力したいと思います。」



2) 勉強会を実施しました！

1年の間に、多くのスタッフが新しく入社しましたが、より現場のレベルアップを図るため、マナー研修を行いました！
研修をすることで、スキルアップができるだけでなく、普段なかなか会えないスタッフ同士の交流の場となり、
より一緒によりサービスを作っていく仲間としての意識が高まったと感じました。

アルバイト・社員関係なく、より質の高いサービスが提供できるよう定期的な勉強会を企画実施していければと考えております。

+…………在宅医療事業部長 金坂 宇将からのメッセージ……………+

1) 合同デスクカンファレンスを開催しました！

(※デスクカンファレンス…ご利用者の看取り後に、振り返りを行うこと。ケアを見直し、次につなげる意義があります。)

6/13の木曜日に、やまと診療所さんと、合同デスクカンファレンスを開催しました！

今回のカンファレンスを通して、お互いに悩んでいた点やよかった点を伝え合い、とても学びのある時間になったようです。

下記は当日の日報から抜粋した生の声です。

「直接フィードバックがもらえて嬉しかった。」
「とても相談しやすいので、今後も連携していきたい。」

「共有をしていくことで、よりチームとしてのコミュニケーションが円滑になっていくんだと感ずることができた。」

在宅看取りでは、たくさんの職種やたくさんの組織がチームになり1人の利用者様にケアを提供します。

合同カンファレンスという機会を通してケアを振り返ることが、日々のケアをただ過ぎ去るものではなく、
経験として身につけ、次のベッドサイドをより良くするのだと思いました。

引き続き地域の関係職種の方々と連携しながら、
地域で過ごす利用者様の望んだ生活がサポートできるよう尽力していきたいと思ひます。

